

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 212-0013  
 住 所 神奈川県川崎市幸区堀川町580  
 氏 名 ソリッドスクエア管理組合  
 代表者 加藤 伸明 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ソリッドスクエア管理組合		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町580		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		7,538 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	東京海上日動ファシリティーズ株式会社
		所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町580
	電話番号		044-520-6061
	FAX番号		044-520-6062
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度～平成27年度 (報告年度 平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策結果報告

## 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

## (1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

## ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 11,918 t-CO <sub>2</sub> (調) 11,897	(実) 12,541 t-CO <sub>2</sub> (調) 12,518	(実) 13,097 t-CO <sub>2</sub> (調) 13,073	(実) 14,070 t-CO <sub>2</sub> (調) 14,045	(実) 11,560 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) -5.2 % (調) -5.2 %	(実) -9.9 % (調) -9.9 %	(実) -18.1 % (調) -18.1 %	(実) 3.0 %

## イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	特殊面積		単位	t-CO <sub>2</sub> /万㎡	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.1598	0.1620	0.1655	0.1788	0.1550
削減率		-1.4 %	-3.6 %	-11.9 %	3.0 %

## ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	年度中盤から後半において入居率が上昇したため、電気・空調の使用量が増加し結果として削減率が5.2%増加してしまった。 また、排出量原単位についても同様に1.4%増加してしまった。
第2年度	これまで、東日本大震災を機に大きな省エネ施策を実施してきたが、この2年ほど新規入居テナントの要望により共用廊下の照明の間引き復旧や夏季のビル共用部の空調復旧などを実施してきたため削減率が9.9%増加した。 また排出量原単位についても同様に3.6%増加した。
第3年度	昨年度に引き続き、新規入居テナントの要望により共用廊下の照明の間引き復旧や夏季のビル共用部の空調復旧などを実施してきたため削減率が18.1%に悪化した。 また排出量原単位についても同様に11.9%に悪化した。

## (2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○共用部給排気ファン、空調機の運転時間の短縮</li> <li>○夏期における空調機の外気導入量の抑制</li> <li>○熱源設備の空気比の調整</li> <li>○基準階空調機 (AHU) へのCO2センサーの導入</li> <li>○中間期におけるアトリウム空調機 (AHU) の使用停止</li> <li>○省エネVベルトへの交換</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○共用部給排気ファン、空調機の運転時間の短縮 対象機器：給気ファン (13台)、排気ファン (23台)、空調機 (9台)</li> <li>○夏期における空調機の外気導入量の抑制 対象空調機：64台</li> <li>○熱源設備の空気比の調整</li> <li>○基準階空調機 (AHU) へのCO2センサーの導入 対象空調機：10台</li> <li>○中間期におけるアトリウム空調機 (AHU) の使用停止</li> <li>○省エネVベルトへの交換 一部交換するもファンモータ周辺が経年劣化しているため効果が見込めないことが判明。このため省エネVベルトの使用は中断。</li> </ul>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基準階空調機における外気ダンパー全閉での運用：10台</li> <li>○基準階空調機 (AHU) へのCO2センサーの導入 対象空調機：8台</li> <li>○共用部照明のLED化</li> </ul>
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基準階空調機における外気ダンパー全閉での運用：10台</li> <li>○基準階空調機 (AHU) へのCO2センサーの導入 対象空調機：8台</li> <li>○共用部照明のLED化</li> </ul>
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	15,097	t-CO <sub>2</sub>
(調)	14,872	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ソリッドスクエア管理組合	川崎市幸区堀川町580	6911	不動産業	15,097 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k <sub>l</sub> 未満	
300~400k <sub>l</sub> 未満	
200~300k <sub>l</sub> 未満	
100~200k <sub>l</sub> 未満	
100k <sub>l</sub> 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--